

吾を定り附ハ和漢たは先井を堀事なり
井口の名是より都々記煙没之朝在於旦
暮とあれもその他埋れちて古今の習われ
も今その他の名さい何やーむ（さにあらず
酒田廣地の表は落合村より流落々川あり
川筋に又都都んこ大曲り井戸淵産乃淵
といふあり又都都んこぐも都んこたいて
然知る人なり大曲と川筋の曲まるを云
井戸淵といふ井口の井の煙まてて淵とぬ
こをいふや産乃淵といふ産乃の記を

而もや廣地の西馬場の下より飯沼堀の
南端山の邊を酒田といふ姓古ハ人の住る
所と云傳へ十里塚村の地方よりしふ先年
馬場の村の何處は賣渡ー今に賣状の按文
なと被地は跡よりとそ廣地新田罷敷の記
被地へ賣渡ーりもやけ地廣地の因り
ーを近代赤川の末堀習るにより今そ
川の向となれり先年古川の年より井敷
の百姓長八天斗の井をもを堀おし次なる
といへる百姓戸板は用いて今にあり酒田の